

# 玉山藪川地区地域づくり計画書

豊かな自然と伝統文化を生かした  
安心して暮らせる 地域づくり



平成27年3月

玉山藪川地区福祉推進会

## 目 次

○ はじめに	1
○ 地域づくり計画	2
1 地区の概要	
（1）人口と世帯数	3
（2）年齢階層別人口	3
（3）年齢階層別人口の推移と推計	4
（4）地区内で活動する主な団体	5
（5）名所・旧跡、寺社仏閣、郷土芸能及び公共施設等の状況	6
2 地区の現状と課題	8
3 今後の展開	8
4 事業計画	11
○ 資料	
1 地域づくりワークショップの結果	14
2 計画策定にかかる活動日誌	21
3 玉山藪川地区福祉推進国会則	24
4 玉山藪川地区福祉推進会専門部規程	27
5 玉山藪川地区福祉推進会地域づくり事業の推進体制	29
6 玉山藪川地区福祉推進会役員名簿	30

## はじめに



(ワークショップの様子)

石川啄木生誕の地である玉山薮川地区は、少子高齢化により人口減少が急速に進み、地域の存続が懸念される現状にあります。しかし、「住んで良かった、これからも住み続けたい」と言える地域づくりに向けて、地区民が協働して一つひとつのテーマに取り組んで行くことが大切であり、それが地域の維持発展につながるものと考えます。

地区民が、これからの玉山薮川地区がどうあれば良いか、どのようになって欲しいか地区の現状と課題を確認し、将来像について意見を出し合う3回のワークショップを開催し、これらの取り組みを集約しました。

お蔭様で、ワークショップの結果を踏まえ盛岡市地域協働推進事業を取り入れて、地区民が自ら考えて行動する地域づくり計画を策定しました。

計画策定にあたってご協力いただきました、岩手県立大学の倉原教授、同大学の学生の皆様、盛岡市市民部市民協働推進課の皆様、ワークショップにご参加いただいた地区民の皆様に、感謝と御礼を申し上げます。

本計画が、地域民の意向に添い、希望ある玉山薮川地区の維持発展につながることを願ってやみません。

平成27年3月

玉山薮川地区福祉推進会長 廣内久行

## 玉山藪川地区地域づくり計画

### 1 地区の概要

玉山藪川地区は、盛岡市の北東部に位置し、その歴史は、古くは縄文時代から人類が住んでおり、その遺跡が日戸、二子沢、小石川等に残っています。紀元800年頃には坂上田村麻呂が蝦夷を征伐して以降、鎌倉時代に相模の国（神奈川県）から川村秀清が地頭職として着任、一族が治めていたそうです。

その後、玉山氏と日戸氏が南部藩の家臣として治めていた。この時代に地域内の寺社仏閣が建造され今も残っています。神社に奉納している神楽も伝承されています。

地域の中心部にある美しい三角形の姫神山は中世から近世にかけて山岳霊場の信仰の山、修験者の修行の場、伝説の山としての歴史があります。一帯には金鉱脈があり岩玉金山、姫神金山、玉山金山、金取（露天掘り）等黄金の山として栄え、戦後まで採掘していました。

また、日戸には望郷の詩人石川啄木が生誕した常光寺があり、境内には金田一京助博士書の「石川啄木生誕の地」の石碑があります。

藪川地区には、昭和35年に完成した日本屈指の美しさを誇る岩洞湖（人造湖で日本で初めての土石混合型ダム）があり、その水を利用した日本一深い（地下300m）岩洞第一発電所があります。冬の岩洞湖は本州一の極寒地ですが、ワカサギ釣りのカラフルなテントでにぎわっています。秋には岩洞湖祭りが開催され家族で藪川そばや地場産牛肉、山の幸が満喫できます。

姫神山の稜線南側にある天峰山から岩手山を真正面に見る展望は雄大で、その麓には一万本のオオヤマザクラを植栽したサクラパーク姫神があり、春は満開のサクラ、秋は紅葉を楽しむことができ、毎年5月第2日曜日頃に「オオヤマザクラまつり」を開催し、季節遅れの花見を楽しんでいます。市民の憩いの場として「桜の里整備事業」の整備が進み平成28年度完成の予定です。また、隣接して「さくらパーク日戸パークゴルフ場」があり、素晴らしい眺望の中で多くの市民の皆様が健康維持を兼ねて家族や仲間とプレイを楽しんでいます。隣接する日本有数の水力地下発電所岩洞第一発電所は見学者も年々多くなっています。

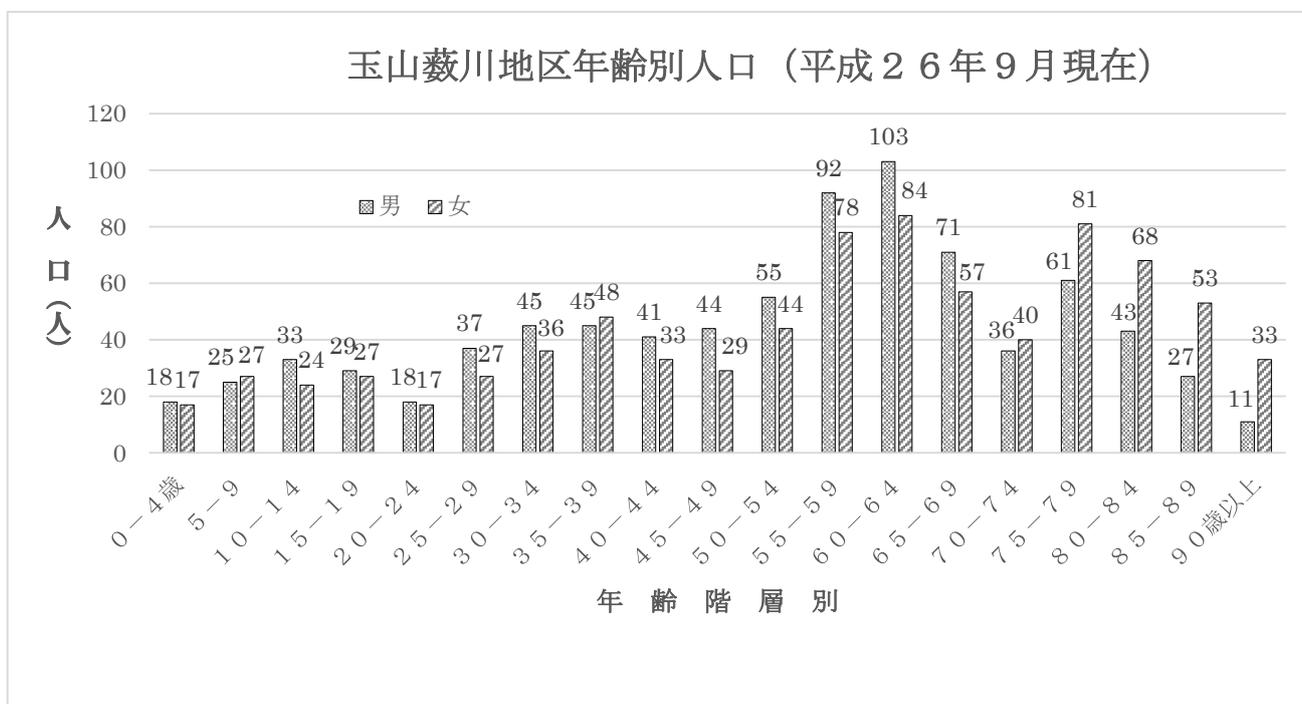
地域内の神社の例大祭には神楽が奉納され、お盆には各集落で盆踊り大会が開催され、伝統行事が伝承されています。

(1) 人口と世帯数（平成26年9月末日現在 住民基本台帳）

区 分		玉山薮川地区	盛岡市
人 口	総 数	1,657人	295,142人
	男	834人	139,521人
	女	823人	155,621人
世 帯 数		585世帯	132,033世帯

(2) 年齢階層別人口（平成26年9月末日現在 住民基本台帳）

区 分	玉山薮川地区	構成比	盛岡市	構成比
年少人口 (0～14歳)	144人	8.7%	38,667人	13.1%
生産年齢人口 (15～64歳)	932人	56.2%	185,438人	62.8%
老年人口 (65歳以上)	581人	35.1%	71,037人	24.1%
計	1,657人		295,142人	

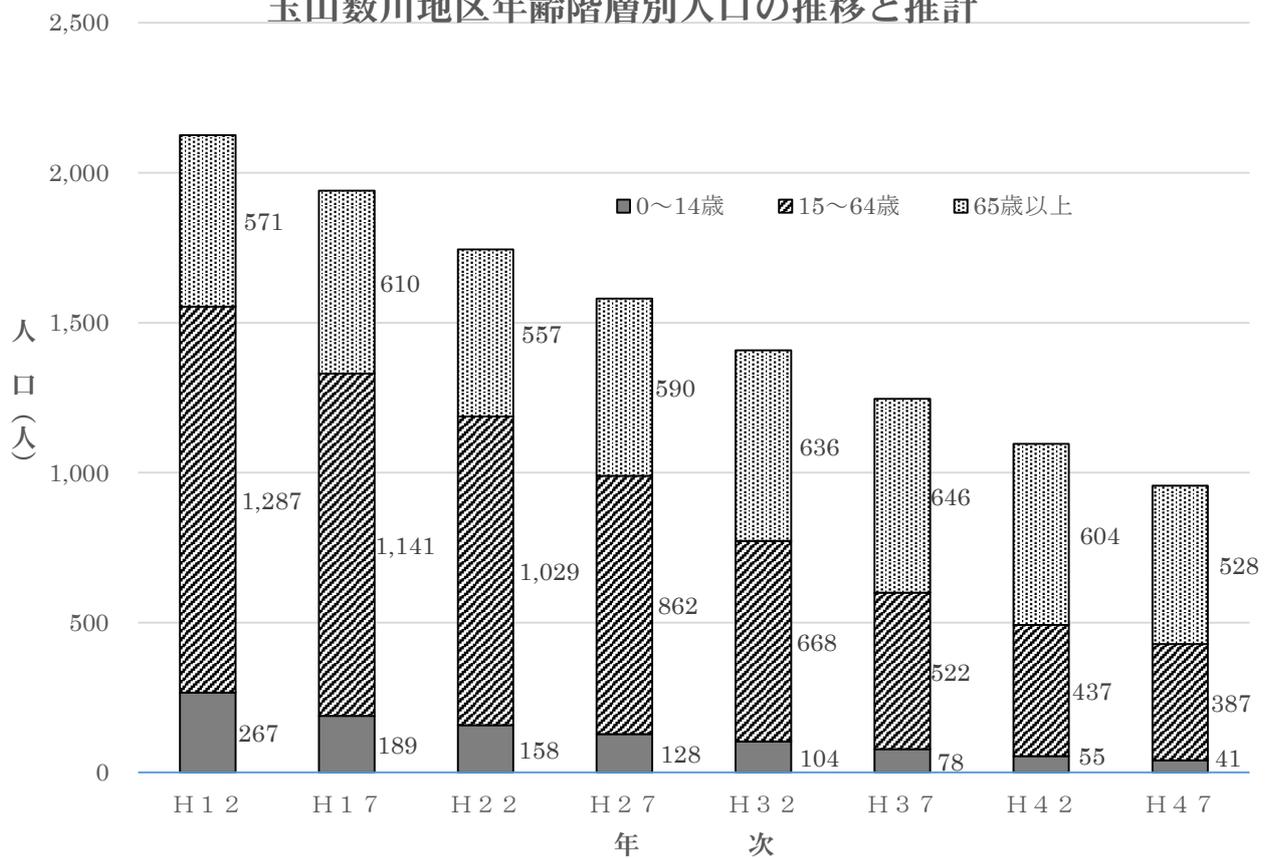


(3) 年齢階層別人口の推移と推計 (資料：盛岡市まちづくり研究所)

区 分	H12	H17	H22	H27	H32	H37	H42	H47
年少人口 (0～14歳)	267	189	158	128 8.1%	104	78	55	41 4.3%
生産年齢人口 (15～64歳)	1,287	1,141	1,029	862 54.6%	668	522	437	387 40.5%
老年人口 (65歳以上)	571	610	557	590 37.3%	636	646	604	528 55.2%
計	2,125	1,940	1,744	1,580 100%	1,408	1,246	1,096	956 100%

<参考 H26年9月現在1,657人>

玉山藪川地区年齢階層別人口の推移と推計



(4) 地区内で活動する主な団体

玉山藪川地区内で活動している主な団体は次のとおりです。

① 自治会

No.	名 称	世帯数	班 数	備 考
1	白沢自治会	4 8	3	
2	城内自治会	6 9	4	
3	山谷川目自治会	3 9	6	
4	日戸自治会	1 0 7	9	
5	釘の平自治会	7 7	6	
6	川又自治会	4 2	4	
7	外山自治会	4 9	4	
8	藪川自治会	5 6	9	
計	8自治会	4 8 7	5 0	

② 自治会以外の団体等

No.	名 称	No.	名 称
1	玉山地区民生児童委員協議会	1 5	城内学童クラブ父母会
2	玉山地区主任児童委員	1 6	玉山保育園保護者の会
3	玉山地区老人クラブ協議会	1 7	地区防犯交通安全協会
4	藪川地区老人クラブ	1 8	地区農家組合
5	玉山地区青少年健全育成会	1 9	新岩手農業協同組合女性部
6	玉山小学校保護者と教師の会	2 0	地区内子ども会育成会
7	城内小学校PTA	2 1	玉山神楽保存会
8	玉山中学校PTA	2 2	日戸神楽保存会
9	消防団第24分団	2 3	釘の平念仏剣舞保存会
1 0	消防団第29分団	2 4	外山駒踊り保存会
1 1	婦人消防協力隊	2 5	藪川神楽保存会
1 2	地区保健推進員	2 6	桜の里産直会
1 3	地区きれいなまち推進員	2 7	玉桜クラブ
1 4	日戸児童館父母会		

(5) 名所・旧跡、寺社仏閣、郷土芸能及び公共施設等の状況

① 名所・旧跡

- ・玉山館跡（市指定記念物）
- ・日戸館跡
- ・二子沢館跡
- ・姫神山（修験者道、登山道）
- ・金山跡（岩玉金山、姫神金山、玉山金山、金採り等）
- ・岩洞湖
- ・御料牧場跡
- ・外山ダム
- ・盛岡農学校(獣医学舎)発祥の地
- ・サクラパーク姫神（オオヤマザクラ1万本）
- ・天峰山からの見晴らし
- ・玉山のシダレアカマツ（県指定天然記念物）
- ・さくらパーク日戸パークゴルフ場
- ・岩洞第一発電所（日本有数の地下発電所 地下350m）
- ・外山節発祥の地
- ・塩の道小本街道
- ・車塔婆
- ・岩洞湖ドーム船、ワカサギ釣り
- ・外山森林公園（キャンプ、焼き肉、外山ソバ等）
- ・小本街道の一里塚
- ・早坂高原

② 寺社・仏閣・仏像等

- ・東楽寺(城内)：十一面観世音菩薩像（県指定文化財）
- ・日照山常光寺(日戸)：石川啄木生誕の地 十一面観音菩薩像
- ・日戸八幡神社
- ・姫神嶽神社（旧玉山観世音堂）
- ・実徳寺山谷川目観音堂（山谷川目十一面観音堂）
- ・山谷川目菩薩立像（市指定有形文化財）
- ・桂澤神社（釘の平）
- ・川又不動明王立像（市指定有形文化財）
- ・外山神社
- ・住吉神社(町村)
- ・熊野神社跡（城内）

③ 郷土芸能

- ・ 玉山神楽（市指定無形民族文化財）
- ・ 日戸神楽（市指定無形民族文化財）
- ・ 釘の平念仏剣舞踊り（市指定無形民族文化財）
- ・ 外山駒踊り（平成25年まで継承）（市指定無形民族文化財）
- ・ 藪川神楽(文政7年以前から)（市指定無形民族文化財）
- ・ 川又神楽

④ 公共施設、その他

- ・ 盛岡市玉山地区公民館・市役所玉山出張所
- ・ 盛岡市藪川地区公民館・市役所藪川出張所（藪川学童クラブ併設）
- ・ 盛岡市立玉山小学校
- ・ 盛岡市立城内小学校（城内学童クラブ併設）
- ・ 盛岡市立玉山中学校
- ・ 盛岡市立日戸児童館
- ・ 玉山保育園
- ・ 盛岡市立玉山健康増進施設
- ・ 岩洞活性化センター
- ・ 農村交流センター
- ・ 岩洞湖家族旅行村(キャンプ場)
- ・ 町村ふれあいセンター
- ・ 外山森林公園
- ・ 白沢地区コミュニティセンター
- ・ 城内地区コミュニティ消防センター
- ・ 山谷川目地区コミュニティ消防センター
- ・ 日戸地区コミュニティセンター
- ・ 釘の平地区コミュニティ消防センター
- ・ 川又地区コミュニティセンター
- ・ 外山公民館
- ・ 玉山生活改善センター
- ・ 岩洞生活改善センター
- ・ 玉山郵便局
- ・ 藪川郵便局
- ・ 岩洞第一発電所、第二発電所
- ・ 岩手県農業研究センター 畜産研究所外山畜産研究室
- ・ 岩洞湖レストハウス
- ・ 日戸キャンプ場
- ・ さくらパーク日戸パークゴルフ場

## 2 地区の現状と課題

地域内には8自治会（平成2年に設立）があり、旧来の結いの精神を引き継ぎ、それぞれ特色を生かした活動を協働して展開しています。

また、8自治会で玉山薮川地区自治会連絡協議会を組織しています。

盛岡市との合併を機に平成18年度に玉山薮川地区内に福祉推進会を設立、地区内の福祉関係事業を行っています。

その他にも子供会、老人クラブ、グラウンド・ゴルフ同好会等が活動しています。また、郷土芸能の神楽、剣舞、駒踊りは、保存会が伝承活動に努めていますが、後継者の確保が難しくなっています。

地区内の人口は年々減少の一途を辿り、平成12年の2,125人が平成26年には1,657人と14年間で22%、468人減少しています。人口推計では20年後の平成47年には956人と現在の60%まで減少、特にも子供や生産年齢人口が極端に減少する予測となっています。

地区内住民が一堂に会してのイベントを開催していないことから地域内交流が不足している現状にあります。このような中において、地域の交流人口の増大が望まれています。

## 3 今後の展開

### (1) スローガン

#### 「豊かな自然と伝統文化を生かした 安心して暮らせる 地域づくり」

ワークショップ結果から、人情が厚く隣近所の助けあいの絆が強い地域性を生かして、豊かな自然と伝統文化の維持継承、交流人口の増大による活気あふれる、賑わいのある、若者が住みたくなる地域にしたいとの意向を込めて、このスローガンを設定し、活動していきます。

### (2) 活動テーマ

#### A 思いやりのある安全安心な地域づくり

高齢者の見守り活動や世代間交流事業、防犯・交通安全活動には現状でも取り組んでいます。より一層安全・安心な地域にするために、現在の活動は継続しながら、より充実した活動を推進するとともに、災害時の緊急事態に備えて各自治会単位で自主防災組織を結成するとともに、災害時に対応するために地区内の自主防災組織が連携して取り組みます。

#### ① 暮らしやすい安全な地域づくり

安心して暮らせる地域にするために次のことに取り組みます。

- ・ 交通防犯対策については、「子供110番の家」の周知や高齢者の交通事故防止等に取り組みます。

- 生活道路の管理については、道路沿線の草刈や側溝の泥揚げ、ごみ拾いなどを地域住民総力で取組みます。
- 災害に強い地域にするために、各自治会単位で自主防災組織を結成するとともに、地区内の自主防災組織の連携を図ります。また、災害時の避難場所を周知するための看板の設置を市に要望します。

#### ② 支え合いの地域づくり

- 高齢者の見守り活動については、現在もシルバーメイトや災害時要支援者の支援事業を行っていますが、今後においては事業内容の周知の徹底を図ります。
- 世代間交流等の推進  
小学生と老人クラブや地域の高齢者との交流事業の継続に努めます。一人暮らし老人や老夫婦世帯などとの交流の機会を増やすために、外出と会話の機会を目的に一部自治会で行われているふれあい昼食会等の活動を地区全域への普及に努めます。

### B 農村風景を大切にした自然環境保全と地域活性化に進む地域づくり

地域の人情豊かな友愛精神を育ててきた農村風景を活かすと共に、その良さを広く発信し、きれいな農村風景で住みたくなる環境にするために次のことに取り組みます。

#### ① 自然環境の保全

- 美化運動の推進：花壇づくり活動を更に充実させていきます。また、生活道路への花植え、ゴミ拾い及び草刈活動についても継続していきます。
- 恵まれた自然環境のPR活動：地域の景観や史跡等の案内板及び観光マップを作成しPRに努めます。昼は景観を楽しみ、夜は星群の眺望ができる展望地の設置に努め、桜の里づくりを活用した観光振興を図ります。また、姫神山や里山の登山道入り口に駐車場等の整備を図り、自然環境の保全に努めます。

#### ② 地場産業の振興

- 地域農産物の協同販売：未利用公共施設や空き家等を活用した産直センターを設置し、生産、加工及び販売までを一貫して行う、6次産業への取り組みに努めます。

## C 誰もが訪れたいくなる地域づくり

地区は、自然環境や歴史的なものを温存しているが、これからは、積極的に自然の良さや伝統・歴史等を発信して、地域の活性化に繋げていけるよう取り組んでいきます。

### ① 歴史を学び育てる

- ・ 歴史、伝統を守り育てる活動：歴史・伝統芸能の保存・伝承及び催事等における発表の場の設定をする等、歴史・伝統芸能を守り育てる活動に取り組みます。また、塩の道の小本街道や外山節発祥の地、御料牧場跡地及び北上山地の金山跡地等を紹介するパンフレットやマップを作成し、啓発活動に努めます。

### ② 自然を生かした交流の推進

- ・ 豊かな自然を生かした交流イベントの開催：地区民が一堂に会して開催するスポーツ交流会及びさくらパーク日戸や岩洞湖周辺を利用した催事を設定し、婚活イベント等の開催に努めます。

## 4 事業計画

(活動テーマ) 思いやりのある安全安心な地域づくり

△：一部で実施済

事業・活動の名称と内容	実施時期			役割分担	
	既に取り組んでいる	すぐにやりたい	将来やりたい	地域	行政
暮らしやすい安全な地域づくり					
交通防犯対策					
子供110番の家の周知	○			○	○
子供・高齢者の事故防止	○			○	○
地域内の人を良く知っている地域づくり	○			○	
生活道路の管理					
道路の草刈り、側溝の泥上げ作業	○			○	
災害に強い地域づくり					
避難所の看板設置		○			○
自主防災組織の結成・連絡会の設立	△	○		○	
支え合いの地域づくり					
高齢者の見守り					
隣近所の見守り (シルバーメイト事業の拡大)	○			○	
ふれあい座談会、昼食会等の拡大	△	○		○	
世代間交流の推進					
児童館・学童クラブ、老人大学との連携による共催イベント (ソバ打ち、餅つき、グラウンド・ゴルフ等)	○			○	○
世代間による各自治会での取組み活動の推進 (花植え草取り作業等)	○			○	

(活動テーマ) 農村風景を大切にした自然環境保全と地域活性化に進む地域づくり

事業・活動の名称と内容	実施時期			役割分担	
	既に取り組んでいる	すぐにやりたい	将来やりたい	地域	行政
自然環境の保全					
美化運動の推進					
花壇づくりと生活道路の花植え	○			○	
生活道路の草刈り・ごみ拾い活動	○			○	
恵まれた自然環境のPR活動					
景観・史跡等名所の案内板及びマップの作成		○		○	
景観を楽しめて星も見れる展望地の設置		○		○	
桜の里を活用した観光振興		○		○	○
姫神山登山道(城内口、田代口)、駐車場の整備			○	○	○
金山抗口への散策路の整備			○	○	○
地場産業の振興					
地域農産物の協同販売					
公設未利用施設の活用による産直販売			○	○	○
六次産業への取り組み			○	○	○

( 活動テーマ ) 誰もが訪れたくなる地域づくり

事業・活動の名称と内容	実 施 時 期			役割分担	
	既に取り組んでいる	すぐにやりたい	将来やりたい	地域	行政
歴史、伝統を守り育てる活動					
伝統芸能の伝承、発表の場づくり					
地域内の伝統芸能を一カ所で見られる場づくり（祭り会場での披露）		○		○	
後継者の育成・伝承		○		○	
歴史を学び育てる活動					
地区内の史跡、文化財の再調査		○		○	
パンフレット、マップの作成		○		○	
交流の推進（にぎわい）					
豊かな自然を生かした交流イベントの開催					
岩洞湖等自然を活用したイベントの開催（スガフェスタの復活等）	○		○	○	○
スポーツ交流会の開催（パークゴルフ、グラウンド・ゴルフ等）		○		○	
婚活イベント		○		○	○

○ 資料編

1. 地域づくりワークショップの結果

( 凡例 ●地域でやる ▲市がやる ★地域と市が協働でやる )

分類別	第1回 地域めぐり H26,8,7 好きなところ・良いところ ○内の数字：投票数	第2回 課題・問題点 H26,9,9 ○内の数字：意見の数	第3回 これからの取り組み H26,10,17		
			既に取り組んでいる	すぐにやりたい	将来やりたい
環境 ・ 自然	<ul style="list-style-type: none"> <li>●⑨緑と花がいっぱいある。自治会活動での 5K の道路に 3500 本の花を毎年植えていること。フラワーロードは良かった。市道沿線の花植え。</li> <li>●⑭自然が豊かで、景観がすばらしく、自然環境が良い。森がある。</li> <li>●②農村風景、そばの花</li> <li>●②広大な土地がある。</li> <li>●③道路の草刈(狭い道路を広く見せようとしている。)</li> <li>●②雑踏から離れて静かな生活を送れる。静かなところ、空気がよい。</li> <li>●③花を植えるなど景観をきれいに保っている。きれいな街づくりに力を入れている。</li> <li>●外山ダムの水芭蕉</li> <li>●オオヤマザクラ植樹・サクラパーク姫神の整備を進めている。</li> <li>●自然環境、田園風景、姫神山、シダレアカマツ、外山ダム、岩洞ダム、桜の里</li> <li>●②自然を活かした施設がある。外山森林公園：森林公園についていろいろ学んだ。</li> <li>●④ダムと自然景観をいかした活動。岩洞湖などの自然環境わかさぎ釣り。</li> <li>●本州一寒い岩洞大自然を感じることができる。</li> <li>●桜の里を地域で積極的に管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★人口が減っている。</li> <li>▲市街化調整区域の解除</li> <li>★⑤名所・旧跡の認識不足(十一面観音など)</li> <li>★岩洞湖周辺の木・枝が伸びて湖が良く見えない。</li> <li>▲大雨のときなど水が溢れる所がある。</li> <li>★雪かきが大変(除雪車が置いた雪)</li> <li>★地区の特色がわかる PR が不足している。</li> <li>★若者が暮らせるまちづくり。</li> <li>▲森林公園の整備がされていない。</li> <li>▲玉山小学校のトイレの水洗化。</li> <li>・冬が寒い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路・河川の草刈、清掃。</li> <li>・きれいなまち(花壇など)</li> <li>・マリーゴールド、花壇の継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日戸のマリーゴールドを地域全体で取り組む。</li> <li>●地域の史跡を共同作業(草刈など)で守り、PR する。</li> <li>●自分たちで足を運び地域の名所を知る。</li> <li>★豊かな自然を受け継いでいく、観光開発。自然環境の PR。</li> <li>●自然環境を利用した何らかのアクション(つり等)</li> <li>★空き施設などを利用して誰もが集える場所づくり。</li> <li>▲岩洞湖周辺を舗装整備しサイクリング道の整備。</li> <li>●豊富な木材を使った通常の暖房と冬場の災害から身を守る暖房に利用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★人造湖3ヶ所を活かした観光地づくり。</li> <li>★星を見るための展望台の整備。</li> <li>★自然公園の規制緩和による有効活用。</li> </ul>

分類別	第1回地域めぐり H26,8,7 好きなところ・良いところ ○内の数字：投票数	第2回 課題・問題点 H26,9,9 ○内の数字：意見の数	第3回 これからの取り組み H26,10,17		
			既に取り組んでいる	すぐにやりたい	将来やりたい
福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シルバーメイトが一人暮らし老人等を見守っている。</li> <li>・④地区ごとにボランティアで草刈作業をしている。</li> <li>・市内に比べて道路の整備等自分たちで自然環境を守る活動を皆んなでしている。</li> <li>・高齢化に伴い老人の障害対策を皆で考えている。</li> <li>・スノーバスターを組織し活動している。</li> <li>・自治会加入率 100%。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★⑦少子高齢化、人口少ないのがますます減ってきている。子どもが減っている。</li> <li>★藪川地区は特に高齢世帯が多すぎる。</li> <li>★高齢者の足（車）が必要</li> <li>★若者が暮らせるまちづくり。</li> <li>▲市街化調整区域で人口増えない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スノーバスター</li> <li>・いきいきサロン 2ヶ月に1回（婦人部）一部地区</li> <li>・シルバーメイト事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲・高齢者世帯などで買い物に行けない人の対策。デマンドバスの運行など。</li> <li>●高齢者の一人暮らしを支援する。（地域の助け合い）</li> <li>★小中学生に地域の人が魅力や課題を教える場づくり</li> <li>▲通行しやすい道路の整備</li> </ul>	
安心・安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人がやさしい。</li> <li>・②地区内の人をよく知っている</li> <li>・隣近所の見守りがしっかりしている。</li> <li>・施設などの整備がきちんとされている。</li> <li>・道路が狭い。</li> <li>・遊ぶところが少ない。</li> <li>・日戸地区に玉山地区の中心として防災センター的役割をする施設がほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲⑥道路が狭くカーブが多い。（歩道、車道）</li> <li>▲④街灯(防犯灯)が少なく道が暗く危険。</li> <li>▲こどもの通学路に歩道がない。</li> <li>▲災害時の避難場所の不備（広報不備、標識皆無、施設整備不良）</li> <li>★③山の中でも車が多く危険。運転が荒い。</li> <li>★地域の暗黙のルールをどう伝えるか。</li> <li>★道路通行の心得を表示</li> <li>▲④除雪車がなかなか来ない。</li> <li>●「ゆいっこ精神」がなくなってきている。</li> <li>★移動が大変（特に冬期間）。</li> <li>★空き家が多い。</li> <li>▲側溝が壊れても直してくれない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見守り隊</li> <li>・交通安全対策（草刈含む）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全住民参加の防災訓練</li> <li>★防犯に努める安心安全の地域づくり</li> <li>★防犯灯の増設。</li> <li>★街路灯設置で夜の安全を図る。（四十四田ダム周辺）</li> <li>★地区ごとの避難場所がわかりやすいように看板を設置し、地域の避難所を明確にする。</li> <li>●ハザードマップ作成</li> <li>▲道路・川の整備（狭い、大雨であふれる箇所）</li> <li>▲道路の拡大</li> <li>▲岩洞湖周辺の駐車場、道路整備</li> <li>▲しか対策</li> </ul>	

分類別	第1回地域めぐり H26,8,7 好きなどころ・良いところ ○内の数字：投票数	第2回 課題・問題点 H26,9,9 ○内の数字：意見の数	第3回 これからの取り組み H26,10,17		
			既に取り組んでいる	すぐにやりたい	将来やりたい
教育・文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・③その地域の特徴を知っている人が多い(歴史を知っている)</li> <li>・⑤ワークショップへの参加など自分たちで何らかのアクションを起こそうとする姿勢がある。</li> <li>・⑦神社・仏閣・史跡・石碑等の文化財が多く、地域文化がある。玉山地区で地元で寺がある。</li> <li>・史跡が点在している。改めて知った。探せば歴史的な文化財が多くある。</li> <li>・十一面観音、シダレアカマツ、金山跡、山伏修験者の関係跡等がある。</li> <li>・④県・市指定遺跡が多くある。</li> <li>・県指定文化財十一面観音はすごい。11面観音等歴史がちゃんと保存され残っている。</li> <li>・近くにいても観ることが出来る。</li> <li>・城内小が作成した宝の地図が親切身がありよかった。</li> <li>・②地域の文化、神楽等の伝統芸能が行われているが、次世代への伝承が課題。</li> <li>・②豊かな自然特産物の有効活用施設が整備され、農園づくりやソバ打ち体験等ができる。</li> <li>・かやぶき屋根の家が残っている。</li> <li>・地域の雇用の場がある。(外山森林公園、ばっちゃん亭)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★④子供が少なく、保育所・小学校・中学校いずれも減少傾向にある。子供が少なく学校の統廃合の話が出ているので不安。</li> <li>★子供たちの教育環境の見直しが必要だ。</li> <li>●生徒が少なく団体競技ができない。</li> <li>▲玉山区内に高校がなく通学が大変だ。(送迎が厳しい)</li> <li>★子供ができる体験が限られている。</li> <li>●人口減のため伝承行事ができなくなっている。</li> <li>●伝統芸能の認識、後継者不足により地域文化の伝承が難しい。</li> <li>★交流が少なく多様な文化に触れにくい。</li> <li>★金山跡地などの保存活用には手間が必要で、地元の負担が増す。ボランティアの活用が必要だ。</li> <li>★②学校の閉校(小中学校)</li> <li>●ワークショップへの若い世代の参加が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のまつり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子供から高齢者まで参加できるイベントの開催。</li> <li>★世代交流の場とイベントを増やす。(伝統芸能の継承等のため。)</li> <li>●にぎわいのある地域づくりを挨拶から始める。</li> <li>●地域文化を見つめなおす取り組みを行う。</li> <li>●次世代への伝承のため地域内へのPRをする。</li> <li>●現在、名称の再確認</li> </ul>	<p>人口を減らしたくない。</p>

分類	第1回地域めぐり H26,8,7 好きなどころ・良いところ ○内の数字：投票数	第2回 課題・問題点 H26,9,9 ○内の数字：意見の数	第3回 これからの取り組み H26,10,17		
			既に取り組んでいる	すぐにやりたい	将来やりたい
にぎわい・ふれあい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・④自然豊で住民の人々も人情に厚く隣近所助け合いの精神が強い</li> <li>・④地域活動、友愛精神がすばらしい。</li> <li>・昔からの風習、慣わしが続いている。</li> <li>・公園の予定などみんなで協力して動けそうな計画がある。</li> <li>・桜の名所（サクラパーク姫神）が有名になってほしい。</li> <li>・名所旧跡がいろいろあることを確認し各地で活性化に向けて頑張っている。</li> <li>・菟川地区：地域の活性化事業が行われているなど、地域が一丸となり取り組んでいる。</li> <li>・④観光施設が多かった。PRすべきところがたくさんある。緑が多い、岩洞湖の1年中の釣り（岩洞湖に客が増えている）、美味しい菟川そば、花壇がきれい（玉山）、産直ばっちゃん亭、岩洞湖第1発電所、日戸パークゴルフ場等</li> <li>・日戸市道のマリーゴールド3,500本植えたのがすばらしい。今後も続けてほしい。</li> <li>・玉山地区は隣が近くていい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●部外者、相手を思いやる気持ち。</li> <li>●集まりは同じ人しか参加しない。</li> <li>●参加者が少なく行事(お祭り等)がなくなった。行事が少ない。</li> <li>●③活気が足りない。(若者がいない)</li> <li>★独身が多い。(イベントなどがあればいい。)</li> <li>★住んでいる若い世代が少ない。</li> <li>●若者が気軽に来れる場所がない。</li> <li>●若者交流の場がない</li> <li>●③地域内交流の行事(同世代・世代間)が少ない。おとしよりと小中学生交流の場が足りない。学校と地域の交流がしづらい。</li> <li>★娯楽施設が少ない。</li> <li>●近くに店がない。</li> <li>★④空き家が多くなっている。</li> <li>★道路沿いの廃屋が増えている。</li> <li>★玉山といえば・・・という観光地が欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日戸でのパークゴルフ</li> <li>・そばうち体験をできるようにする。</li> <li>・マリーゴールドロード</li> <li>・特産品(そば・ホレン)を振舞う祭り。</li> <li>・山菜体験農園を整備し交流。</li> <li>・自然を生かしたイベントで集客。</li> <li>・地域全体でばっちゃん亭に協力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●マリーゴールドロードを拡大する。(全自治会へ)</li> <li>★若者の交流の場を設ける(世代間交流)</li> <li>★独身者の婚活イベント独身者限定のお見合い、飲み会を地域で行う。</li> <li>●地域の人が多く集まるイベントづくり</li> <li>●②祭りの継続・復活、運動会の復活。</li> <li>●スポーツ交流会の開催。</li> <li>●住民同士の交流・話し合いの場を増やす。</li> <li>●ビアガーデン、山小屋、居酒屋(月3回くらい)</li> <li>●冬の岩洞湖に氷のイグルーを作って観光客を呼ぶ。</li> <li>★廃校を利用した山村留学や木工など受入交流を図る。</li> <li>●喜んでもらえる体験農園(山菜)</li> <li>●パークゴルフ場の冬場の活用(スキー場など)</li> <li>★地域内の特色を共有して、地域外への発信する取り組み。</li> <li>★若者の育つ場・職場づくり。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★産直施設を作る。</li> <li>★岩洞湖、ダム、十一面観音、外山森林公園などの観光ルートをつくる。</li> <li>★岩洞湖のほとりに宿泊施設をつくる(キャンプ場などでも)</li> <li>★若い世代が住みたいと思える地域、若者が増える地域づくり。</li> </ul>

分類別	第1回地域めぐり H26,8,7 好きなところ・良いところ ○内の数字：投票数	第2回 課題・問題点 H26,9,9 ○内の数字：意見の数	第3回 これからの取り組み H26,10,17		
			既に取り組んでいる	すぐにやりたい	将来やりたい
産 業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蘆川の地産のそばを広く商業地域でがんばって活かしている。</li> <li>・②そばがうまいホルモンがうまい。蘆川そばをご馳走になってよかった。</li> <li>・外山森林公園、ばっちゃん亭のそば。ワラビ、行者にんにく。</li> <li>・葉たばこの栽培が続いている。</li> <li>・馬の飼育を続けている。</li> <li>・サクラパーク姫神の整備の取り組み。</li> <li>・店が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲②土地の規制問題。</li> <li>▲③産業が少ない。企業、働く場がない。地元の仕事がない。</li> <li>★②若い世代が働く場がない。</li> <li>★後継者が少ない。</li> <li>▲地域外への通勤に時間がかかる。</li> <li>●良さのPR、広がり弱い。観光のPR不足。</li> <li>▲地元にお金が入る仕組みがない。</li> <li>★一戸あたりの農地面積が少なく、収入が少ない。</li> <li>★農業人口が減っている。</li> <li>▲魅力が散在し、移動時間がかかる。</li> <li>▲②店、飲み屋が少ない。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>▲市街化調整区域の縮小・解除。</li> <li>▲若者が暮らせる地域（企業など）</li> <li>▲土地利用の規制緩和。</li> <li>▲農林業で生活ができるような仕事場づくり。</li> <li>●地域で収穫できる農産物を使った食品作り。</li> <li>★産業振興を進めて若者の職場確保。</li> <li>★訪れたいと思う観光地づくり。</li> <li>★旅行会社の人に地域を見てもらい、ツアーなどで県外の人へPRしてもらう。</li> <li>●地域PRのための地域マップ、飲食マップづくり。</li> <li>★サクラパーク姫神のPR</li> <li>★空き家を利用し定住者を呼び込む（人口増加）</li> <li>★空き家を貸し出し、里山の暮らしを体験してもらう。</li> <li>★空き家と地元食材を使った隠れ家風レストラン（生産・経営・調理すべて地元で完結）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★②若者の定住のための産業(企業)の呼び込み。</li> <li>★広い地域を利用し企業を呼び込む運動をする。</li> <li>★地域 PR と産直販売（ミニ道の駅）</li> <li>★地域の名所に看板。駅などに観光マップの配置。</li> <li>★空き家をリフォームして外部から居住者募る。</li> </ul>

分類別	第1回地域めぐり H26,8,7 好きなところ・良いところ ○内の数字：投票数	第2回 課題・問題点 H26,9,9 ○内の数字：意見の数	第3回 これからの取り組み H26,10,17		
			既に取り組んでいる	すぐにやりたい	将来やりたい
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・携帯の電波をよくしてほしい。</li> <li>・各自治会活動に力を入れている。</li> <li>・かやぶき屋根の家が残っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★30代、40代の意見も取り入れ、みんなで取り組む。</li> <li>★住民の考えを形にする方法。</li> <li>▲②交通の便が悪い。</li> <li>★地域全体のPRが弱い。</li> <li>★点と点のつながり、面的な弱さがある。</li> <li>▲合併後、公共施設のサービスが悪くなっている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●インターネットを使ったPR（そば・山菜）</li> <li>●若い人の意見を聞いて利用していく。</li> </ul>	

玉山薮川地区福祉推進会 まちづくりワークショップ 参加者名簿

コーディネーター： 県立大学倉原教授

1 班			2 班			3 班			4 班			5 班		
NO.	氏名	所属	NO.	氏名	所属	NO.	氏名	所属	NO.	氏名	所属	NO.	氏名	所属
1	竹 沢 重 利	城 内	1	石 崎 幸 雄	山谷川目	1	日 野 杉 勉	外 山	1	時 舘 丕 顕	川 又	1	米 島 博 悦	白 沢
2	石 橋 ミツ子	白 沢	2	気 田 美代子	白 沢	2	堀 江 茂 樹	日 戸	2	三 浦 実	薮 川	2	小 林 保 亮	釘の平
3	片 島 百合子	釘の平	3	畠 山 良 一	釘の平	3	太 田 正 幸	城 内	3	山 内 一 男	山谷川目	3	水 澤 喜久弥	日 戸
4	鳴 海 秀 雄	薮 川	4	藤 原 時 夫	外 山	4	石 橋 久 子	山谷川目	4	荒木田 孝 雄	外 山	4	岩 舘 サ キ	川 又
5	岩 舘 政 平	川 又	5	熊 原 喜久子	城 内	5	小 倉 金 松	薮 川	5	米 澤 悦 子	日 戸	5	高 橋 充	市 役 所
6	古 舘 幸 広	市 役 所	6	佐々木 喬 也	市 役 所	6	佐羽内 大 郎	市 役 所	6	根 田 真 江	中 学 校	6	千 葉 龍太郎	岩手大学
7	飯 田 凌	県立大学	7	三 上 祥 吾	県立大学	7	新井田 悠 香	県立大学	7	佐 藤 雅 春	市 役 所	7	鈴 木 梨 奈	県立大学
			8	小 野 綾 子	児 童 館	8	千 田 祥 平	県立大学	8	室 岡 夏 実	県立大学			
見学者：鈴木哲久 岩手大学						福祉推進会：廣内久行 熊原 實								

班	キャッチフレーズ	将来像	やりたいこと
1班	世代間交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人が集う地区</li> <li>・若者が来たくなる地域</li> <li>・地元を知り誇れるように</li> <li>・豊かな自然をこれからも受け継いでいく</li> <li>・歳をとっても安心して暮らしたい</li> <li>・活気があり、にぎわいのある地域で若い人が住み着くようなところになってほしい</li> <li>・健康づくりに気づかうまち</li> <li>・高齢者の一人暮らしを少なくしたい</li> <li>・地区内、地区外の交流が盛んな地域</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活体験</li> <li>・世代間交流</li> </ul>
2班	地域を最大限に活かそう！	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もが訪れたいくなる地域</li> <li>・岩洞湖に観光船</li> <li>・企業が来てほしい</li> <li>・人がふえる事</li> <li>・祭りの復活、様々な世代でにぎわう祭り</li> <li>・豊かな自然を生かした地域</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山の物でアートを作る</li> <li>・観光して見る所が多かったので皆様にも紹介したほうがよい。</li> <li>・住宅を増やし若い人達が住むように規制緩和</li> <li>・自然環境を利用した何らかのアクションを起こせるとよい（手入れの手間がかかる）</li> <li>・地域マップ作成</li> <li>・特産品：注目する施設のPR</li> <li>・勉学以外での教育・教養の場として何らかの活動（次世代に伝える）</li> </ul>
3班	まず、交流人口をふやそう！	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名所、旧跡や展望地等の整備とそれを巡れる道路整備及びマップを作るなどし、PRする</li> <li>・自然や名所、旧跡を生かし、交流人口を増やす</li> <li>・若い世代が安心して子育てできる地域づくり（住みたいと思える様）</li> <li>・自然環境を守りつつ、安心して暮らせる生活づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩洞湖を全国にPR、冬に氷のテントをつくるなど</li> <li>・喜んでもらえる体験農園（山菜）</li> <li>・飲食マップを作る</li> <li>・名所の看板作り、草刈作業</li> </ul>
4班	活気あふれる地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心して暮らせる地域、移動に不安を感じないで</li> <li>・にぎわいのある地域にしたい</li> <li>・子供が多く活気にあふれる地域にしたい</li> <li>・若者が喜んで来てくれるまちにしたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっとバスを運行したい</li> <li>・道路をもっと広くしたい</li> <li>・もっとバスを運行して宝をPRしたい</li> </ul>
5班	地域の特色を生かしたぬくもりのある地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・永遠の山里風景</li> <li>・住民が安心して暮らせる地域</li> <li>・観光資源を活かして活力のある地域にする</li> <li>・観光ルートの確立</li> <li>・産直の発展</li> <li>・若い人間の育つ場づくり</li> <li>・自然を活かした観光開発</li> <li>・若い人、子供がもっと増えて活気のある地域</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠野に負けない馬の文化継承</li> <li>・地域での運動会などスポーツ振興</li> <li>・祭りの復活・継続</li> <li>・若者が定住できる産業を呼び込む</li> <li>・若者が楽しく暮らせる地域づくり</li> <li>・里山に似合うかやぶき屋根の復活</li> <li>・玉山地区の道路を整備する</li> </ul>

## 2. 計画策定にかかる活動日誌

### 地域づくり計画策定に係る取り組み経過

No.	月/日	内 容	場 所	出 席 者 等
1	H26 1/17	地域づくり計画策定に係る協議（事業内容・スケジュール）	日戸児童館	市、正副会長、役員等
2	2/14	地域協働推進事業に係る研修会（地域協働推進事業概要・取組み事例の研修）	玉山地区公民館	市、自治会、民児協、老人クラブ、PTA、保健推進員等
3	4/23	玉藪福祉推進会総会（地域協働推進事業実施可決・会則の一部改正可決・計画予算可決）	玉山地区公民館	市、正副会長、役員、代議員、事務局等
4	5/15	地域行動推進事業打合せ	日戸児童館	会長、事務局熊原
5	5/23	地域協働推進事業認可申請提出	盛岡市（市民部市民協働推進課）	会長、事務局熊原
6	5/30	市から地域協働実施地区の決定		
7	6/17	地域づくりワークショップ打合せ（岩手県立大学倉原教授）	県立大学研究室	正副会長、事務局長、市役所2名、事務局熊原
8	6/25	地域づくりワークショップ打合せ会議	玉山地区公民館	正副会長、事務局長、市役所2名、事務局熊原
9	6/27	地域づくり計画策定費補助金交付申請提出	盛岡市（市民部市民協働推進課）	事務局熊原
10	6/28	地域づくりワークショップ開催要項制定の決裁		事務局熊原
11	6/29	地域づくりワークショップ打合せ通知（自治会長、館長、市あて）		事務局熊原
12	6/30	地域づくり計画策定費補助金交付決定通知（市長より）		
13	7/1	地域づくり計画策定費補助金前金払請求書提出	盛岡市（市民部市民協働推進課）	事務局熊原
		ゆうちょ銀行口座の開設	日戸児童館	会長
14	7/15	地域づくりワークショップの指導依頼（文書で市経由し倉原教授へ）		市、事務局熊原
		役員会（ワークショップ開催一各自治会の概要、コース、参加者名簿等）	玉山地区公民館	正副会長、5自治会長、局長、館長、事務局熊原
15	7/16	地域づくり計画策定費補助金前金入金（市長より）		
16	7/22	地域づくりワークショップ各自治会概要まとめ及び参加者名簿作成		事務局熊原

No.	月/日	内 容	場 所	出 席 者 等
17	7/23	正副会長、事務局長会議（各自治会ポイント及び参加者について）	玉山地区公民館	正副会長、事務局長、市、事務局熊原
18	7/24	地域づくりワークショップ物品及び茶菓（発注）	日戸児童館	会長、事務局熊原
19	8/4	地域づくりワークショップ物品、茶菓、資料等50人分準備	日戸児童館	会長、事務局熊原
20	8/7	第1回地域づくりワークショップ（貸切りバスでまち歩き、ワークショップ）	玉山蕨川地区（白沢、城内、山谷川目、日戸、釘の平、川又、外山、蛇塚、岩洞、町村）	各自治会3人（内女性1人）、県立大5人、岩大生1人 市5人、倉原教授 会長、事務局熊原
21	8/8	第1回地域づくりワークショップまとめ（Excel）、古館支援員へ依頼	玉山総合事務所	会長、事務局熊原
22	9/1	第2回地域づくりワークショップ開催通知		事務局熊原
23	9/5	第2回地域づくりワークショップ打合せ	日戸児童館	市、会長、事務局熊原
24	9/6	第2回地域づくりワークショップ参加者の確定報告	盛岡市（市民部市民協働推進課）	事務局熊原
25	9/9	第2回地域づくりワークショップまとめ（Excel）を県立大学生へ依頼	玉山地区公民館	第1回参加者と同じ
26	9/29	第3回（最終）地域づくりワークショップ（倉原教授と日程調整）		市、事務局熊原
27	10/1	第3回（最終）地域づくりワークショップ打合せ（おさらい、具体策）	県立大学研究室	倉原教授、会長、日野杉・時館副会長、市2人、事務局熊原
28	10/4	第3回（最終）地域づくりワークショップ開催通知		事務局熊原
29	10/9	第3回（最終）地域づくりワークショップ事務連絡	盛岡市（市民部市民協働推進課）	事務局熊原
30	10/14	第3回（最終）地域づくりワークショップ参加者の確定報告	盛岡市（市民部市民協働推進課）	事務局熊原
31	10/17	第3回（最終）地域づくりワークショップ（まとめ（ExcelData）を県立大学生へ依頼）	玉山地区公民館	第1回参加者と同じ
32	11/19	第3回（最終）地域づくりワークショップまとめ（ExcelData）届く		市、県立大学生から
33	11/27	地域づくり計画策定の打合せ	日戸児童館	会長、事務局熊原
34	12/3	市に今後の指導依頼をする	盛岡市（市民部市民協働推進課）	事務局熊原
35	12/8	第1～3回地域づくりワークショップまとめ及び参加者名簿作成		会長、事務局熊原
36	12/11	正副会長・事務局長・市打合せ通知（地域づくり計画策定の進め方）、地域づくり計画策定について打合せ	玉山地区公民館	市、正副会長、事務局長、事務局熊原

No.	月/日	内 容	場 所	出 席 者 等
37	12/12	第2回役員会開催の通知	日戸児童館	会長、事務局熊原
38	12/17	第2回役員会	玉山地区公民館	市、役員、事務局熊原
39	12/24	地域づくり計画書策定編集委員会 3班編成し、地域づくり計画書原案作成 作業	玉山地区公民館	編集委員7人「会長、副 会長(日野杉・畠山)事務 局長・竹澤・米島・事務 局熊原」
40	12/26	地域づくり計画書策定編集委員会 3班に分かれて地域づくり計画書原案作 成作業。計画書原案の調整は会長と事務 局次長に一任	玉山地区公民館	編集委員7人「会長、副 会長(日野杉・畠山)事務 局長・竹澤・米島・事務 局熊原」
41	H27 1/15	地域づくり事業補助金決算見込み精査及 び県立大学生卒論ヒアリング対応	日戸児童館	会長・事務局熊原
42	1/21	地域づくり計画書原案調整作業 講師謝礼金支払準備及び専門部規程(案) の検討	日戸児童館	会長・事務局熊原
43	1/22	講師へ進捗状況報告及び講師謝礼金支払	岩手県立大学	会長・事務局熊原
44	2/12	地域づくり計画書原案調整作業 玉山蕨川地区福祉推進会旅費規程(案)及 び専門部規程(案)作成	玉山地区公民館	会長・副会長日野杉 事務局熊原
45	2/21	地域づくり計画書原案調整作業	玉山地区公民館	会長・事務局熊原
46	2/24	地域づくり計画書原案最終調整作業	日戸地区コミュセン	会長・事務局熊原
47	2/25	地域づくり計画書策定編集委員会 地域づくり計画書原案確定	日戸児童館	編集委員6人「会長、副 会長(日野杉・畠山)竹 澤・米島・事務局熊原」
48	3/6	役員会(臨時総会提出議案について)	玉山地区公民館	役員事務局員13人 盛岡市3人
49	3/12	臨時総会資料等準備	玉山地区公民館	会長・事務局熊原
50	3/13	臨時総会(地域づくり計画書、専門部規 程の議決、旅費規程の承認)	玉山蕨川地区公民館	代議員20人 役員・事務局員13人
51	3/14	地域づくり計画書印刷発注		会長
52	3/16	補助金清算事務	日戸児童館	会長・事務局熊原
53	3/25	地域づくり計画書納品受領	日戸児童館	会長・事務局熊原
54	3/26	事業完了確認、完了報告書提出 盛岡市(市民部市民協働推進課)へ	日戸児童館	会長・事務局熊原

### 3. 玉山薮川地区福祉推進會會則

(名 称)

第1条 本会は、玉山薮川地区福祉推進會(以下「本會」という。)という。

(組 織)

第2条 本会は、玉山及び薮川地区(以下「地区」という。)に所在する自治會、地区民生児童委員協議會、老人クラブ、小中学校PTA、保健推進員、JA女性部、婦人団体、児童館等父母の會、消防団、婦人消防協力隊、ボランティア団体、その他本會に賛同する団体(以下「加入団体」という。)をもって組織する。  
(事務所)

第3条 本會の事務所を、盛岡市玉山区日戸字市ノ坪25-1日戸児童館内に置く。  
(目 的)

第4条 本會は、地区自治會及び関係団体並びに関係機関と連携、協力し、玉山薮川地区民の融和と福祉の向上を図り、併せて地域の将来像や課題を考え、その解決や実現のため、協働による地域づくり事業を行い、もって地域の発展に寄与することを目的とする。

(事 業)

第5条 本會は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 地域福祉の総合企画及びその推進に関すること。
- (2) 加入団体間の連絡調整及び情報交換に関すること。
- (3) 加入団体が行う福祉活動に対する協力、援助に関すること。
- (4) 委託事業の実施に関すること。
- (5) 協働による地域づくりに関すること。
- (6) その他、前条の目的達成のために必要なこと。

(役 員)

第6条 本會に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名 (2) 副会長 2名 (3) 理事 若干名
- (4) 監事 2名 (5) 事務局長 1名

2 会長は、本會を代表して会務を統括する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときは、その職務を代行する。

4 理事は、会務を処理する。

5 監事は、会務及び会計を監査する。

6 事務局長は、会長の命を受けて事務を処理する。

(役員を選任方法及び任期)

第7条 理事及び監事並びに事務局長は總會において選任する。

2 正副会長は、理事の互選により選出する。

- 3 役員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。
- 4 補欠により就任した役員の任期は、前任者の残任期間とする。  
(代議員)

第8条 本会に、代議員を置く。

- 2 代議員は、各自治会3名の推薦者をもって充てる。
- 3 代議員は、総会に出席し、提出された議案を審議する。  
(顧問)

第9条 本会に顧問を置くことができる。

- 2 顧問は、総会の承認を得て会長が委嘱する。
- 3 顧問は、会長の諮問に応じるものとする。  
(会議)

第10条 本会の会議は、総会及び役員会とする。

- 2 総会及び役員会は、会長が招集する。
- 3 総会は、年1回開催し、次の事項を審議する。ただし、必要に応じて臨時に召集することができる。
  - (1) 事業計画及び事業報告に関すること。
  - (2) 予算及び決算に関すること。
  - (3) 会則の改廃に関すること。
  - (4) その他、本会の運営に関する重要なこと。
- 4 総会の議長は、出席代議員の中から選任する。
- 5 役員会は、会長が議長となり、次の事項を審議する。
  - (1) 総会に付議する事項。
  - (2) 会務の執行に関すること。
  - (3) その他、会長が必要と認めた事項。

第11条 本会の会議の議決は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは議長が決定する。

(専門部)

第12条 本会に、事業を円滑に推進するため、次の専門部を置く。

(1) 総務部 (2) 地域交流部 (3) 在宅福祉部 (4) 地域づくり部

- 2 専門部について必要な事項は、別に定める。

(経費)

第13条 本会の経費は、会費、補助金、寄付金、その他の収入をもって充てる。

(会計年度)

第14条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(特別会計)

第15条 第5条第1項第5号に規定する協働による地域づくりに関する事業を実施するため、地域づくり特別会計を設ける。

(雑 則)

第16条 この会則に定めるもののほか、本会の運営について必要な事項は役員会で決める。

附 則

- 1 この規約は、平成18年4月25日から施行する。
- 2 第7条第2項の規定にかかわらず、設立当初の役員の任期は平成19年度の総会の日までとする。

附 則(平成22年4月1日一部改正)

この会則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則(平成24年4月1日一部改正)

この会則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(平成26年4月23日一部改正)

この会則は、平成26年4月23日から施行する。

(協働による地域づくり事業の実施等にかかる一部改正)

#### 4. 玉山藪川地区福祉推進会専門部規程

(趣旨)

第1条 この規程は、玉山藪川地区福祉推進会会則（以下「会則」という。）第12条第2項の規定に基づき、玉山藪川地区福祉推進会（以下「推進会」という。）の専門部（以下「部」という。）に関し、必要な事項を定める。

(所掌事務)

第2条 部は、玉山藪川地区福祉推進会会長（以下「会長」という。）の指示を受け、会則第5条に掲げる事業について専門的に協議又は調整を行い、必要な事業を行う。

(組織及び部の委員)

第3条 組織及び部の委員は、別表による。

(役員)

第4条 部に次の役員を置く。

(1) 部長 1名

(2) 副部長 1名

2 役員は、各部の委員の互選により定める。

(役員職務)

第5条 部長は、部を代表し会務を総括するとともに、必要に応じて推進会の会議等における説明員となる。

2 副部長は、部長を補佐し部長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 部の会議（以下「会議」という。）は、会長の要請により、または部長が必要に応じて招集する。

2 部長は、会議の議長となる。

3 部長は、必要に応じて会議に関係者等の出席を求めることができる。

4 各部は、必要に応じて関係する他の部と合同の会議を開催することができる。

(部の分掌事務)

第7条 部の分掌事務は、次のとおりとする。

(1) 総務部

ア 推進会運営の連絡調整及び会員への広報に関すること。

イ 推進会の庶務に関すること。

ウ 他の部に属しないこと。

(2) 地域交流部

ア 青少年の健全育成に関すること。

イ コミュニティ活動の推進に関すること。

ウ 世代間交流事業に関すること。

(3) 在宅福祉部

- ア 介護、医療及び保健等に関すること。
- イ 高齢者のふれあいに関すること。
- ウ ボランティア活動の推進に関すること
- エ 一人暮らし高齢者及び高齢者世帯の見守りに関すること。

(4) 地域づくり部

- ア 地域づくり計画書の活動テーマに基づく事業計画の推進に関すること。
- イ 協働による地域づくり事業の計画・実施及び調整に関すること。

(推進事業)

第8条 推進する事業は、推進会の事業計画に登載された事業とする。

(事業協力)

第9条 推進会を構成する団体は、事業実施に当たり積極的に関与し、協力をするものとする。

(書記)

第10条 部の事務を処理するため書記を置く。

- 2 書記は、会長が指名する。
- 3 書記の任期は、推進会役員の任期に準ずる。ただし、再任を妨げない。

(委任)

第11条 この規程に定めるもののほか、部の運営に関して必要な事項は、会議に諮って部長が別に定める。

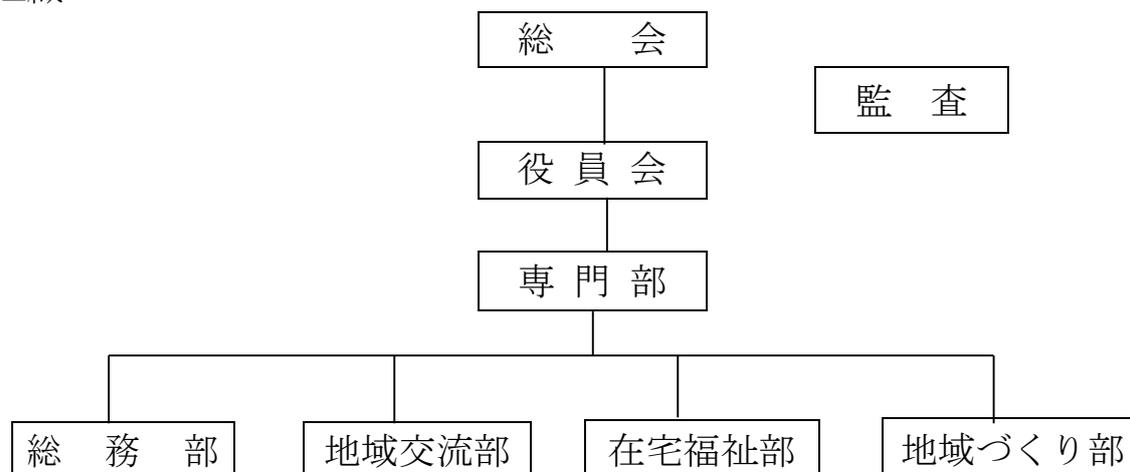
附 則

この規程は、平成27年3月13日から施行する。

## 5 玉山蕨川地区福祉推進会地域づくり事業の推進体制

### 別表（第3条関係）

#### 1 組織



#### 2 部の委員

部名	職名	備考(役員等)
総務部	自治会長	委員
	消防団分団長代表	委員
	自治会副会長	委員
	自治会副会長	委員
	自治会事務局長	書記
地域交流部	自治会長	委員
	老人クラブ地区協議会長	委員
	日戸児童館父母の会会長	委員
	玉山たんぽぽの会代表	委員
	自治会事務局長	書記
在宅福祉部	自治会長	委員
	民生児童委員代表	委員
	保健推進委員代表	委員
	J A女性部代表	委員
	自治会事務局長	書記
地域づくり部	自治会長	委員
	玉山中学校PTA会長	委員
	小学校PTA会長代表	委員
	自治会副会長	委員
	自治会副会長	委員
	自治会事務局長	書記

## 6. 玉山蕨川地区福祉推進会役員名簿

平成25年4月1日～平成27年総会の日まで

No.	役職名	氏名	所属・職名	備考
1	会長	廣内久行	玉山蕨川地区自治会連絡協議会長	日戸自治会長
2	副会長	日野杉 勉	玉山蕨川地区自治会連絡協議副会長	外山自治会長
3	副会長	畠山良一	玉山地区民生児童委員協議会長	
4	監事	竹澤重利	城内自治会長	
5	監事			欠員
6	事務局長	時館丕顕	川又自治会長	
7	理事	米島博悦	白沢自治会長	
8	理事	石崎幸雄	山谷川目自治会長	
9	理事	小林保亮	釘の平自治会長	
10	理事	三浦 実	蕨川自治会長	
11	理事	北川俊正	蕨川地区民生児童委員	
12	理事	岩館哲夫	老人クラブ玉山地区協議会長	
13	理事	竹澤伸也	玉山中学校PTA会長	
14	理事	工藤 毅	玉山小学校保護者と教師の会会長	
15	理事	小橋弓子	保健推進員玉山地区代表	
16	理事	右京 勝	消防団分団長代表	
17	理事	遠藤 かつ子	新岩手農業協同組合女性部代表	
18	理事	廣内志保	日戸児童館父母の会会長	
19	理事	北野 萬喜子	玉山たんぼぼの会代表	
20	事務局員	熊原 實	城内自治会副会長	
21	事務局員	小野綾子	日戸児童館長	